

苔玉のお手入れ方法

倉敷生まれの苔玉、お気に召していただけたでしょうか？植物も人間も、いかに環境に支えられているかを実感する今日この頃です。

苔と植物について、基本的な手入れ方法をお伝えしますが、あまり難しく考えず、日々、貴方の苔玉と顔を合わせ、話しかけながら水やりのタイミングをつかんでいってください。

《表面の苔（はいごけ）の手入れ方法》

通常は霧吹きなどでしっとりさせるだけで十分です。茶色っぽくなくても、新たな苔が生えてきますので心配せずに見守ってください。平均的な水やりの頻度は、春・秋は1~2日に一回、夏は毎日、冬は2~3日に一回が目安です。

《植え込まれている植物の手入れ方法》

植物の元気がなくなったり、苔玉を持ち上げたとき軽くなったと感じたら、ボウルなどに水を溜め、玉のてっぺんまで浸けます。初めは水に浮きますが、気泡が抜けると沈みます。5分前後を目安に水に浸けたら、水気を切り、一度しっかり日に当てると植物も苔も元気になります。

《長期間留守にする場合》浅い皿に水を溜めて浸けておくと、保水することができます。ただし、根腐れの原因になりますので、普段は水を溜めないようにしてください。

《肥料》

春（4~5月）と秋（10~11月）、水で薄めて使う液体肥料（ハイポネックスなど）を使用します。水やりと同様、薄めた液肥の中に浸け、栄養を苔玉の中まで浸透させます。

《置き場所》なるべく自生環境に近づけることがポイント！室内なら、木漏れ日のように柔らかい光が届き、空気が流れる場所に。屋外では直射日光を避けてください。

ご不明な点は、倉敷グリーンファームのホームページまでお問い合わせください。

